

徳島ネパール友好協会の活動

徳島ネパール友好協会は、ネパール中部の山村ブジュン村に「電気の灯を贈ろう」と県内の有志により 1996 年 2 月に設立されました。多くの企業や団体、個人から頂いた寄付金や各種助成金を活用し、大学などの協力も得ながら、村民との協働により 1999 年 12 月に小型水力発電所（80kw/h）を完成することができました。

その後も、ブジュン村等での薬草調査や、バーチョーク村でのソーラーパネルと LED を組み合わせた家庭用照明システムの導入支援など行い、2011 年 3 月にはブジュン村発電所完成 10 周年の記念事業として農作物運搬用索道（ロープウェイ）の設置を行いました。

また、都市部においても日本で不要となった消防車や救急車を運送して寄贈する事業、ネパール少年少女の徳島でのホームステイ事業、2015 年 5 月のネパール大地震の際には救済復興支援に向けた募金活動など、徳島県民の皆様方の協力を得ながら、ネパールや徳島においてさまざまな活動を展開しています。

その他、ヒマラヤの山々を仰ぎながら山村を巡るトレッキング、4000m を越えるような高所を目標とした登山、寺院や熱帯の野生動物のいる自然公園への旅行などネパールをもっと知っていただき、好きになっていただけるような事業も行っています。